

全国的に進む少年のシンナー離れ

2005年12月26日(月)

B R I C s 経済研究所 代表 門倉 貴史

E-mail: vermeer@pa3.so-net.ne.jp

～要 旨～

一昔前は、少年が手を出す違法ドラッグといえば、シンナーが主流であった。1960年代に入ってシンナーの吸引・乱用が全国的に拡大したため、1972年に「毒物及び劇物取締法」が改正され、シンナーの乱用や販売行為が法律で禁止されることとなった。規制強化後も、少年によるシンナーの吸引・乱用は高水準で推移していたのだが、近年では、そうした傾向に変化が現れている。90年代後半以降、シンナー等有機溶剤の吸引等の検挙・補導人員、及び全体に占める少年の割合が低下傾向を示しており、全国的に少年のシンナー離れが進んでいると推察される。この理由として、シンナーの他の違法ドラッグに比べた割安感が薄れてきたことが挙げられる。最近では各種ドラッグの値段が低下傾向にあり、またMDMA(メチレンジオキシメタンフェタミン)など新しいタイプの違法ドラッグも次々に誕生していることから、シンナーから他の違法ドラッグへと少年の需要がシフトしている可能性が高い。

地域によっては、少年によるシンナーの乱用・吸引が最近になってむしろ深刻化しているところもある。福岡県は、少年によるシンナーの吸引・乱用がもっとも深刻な地域とされており、たとえば、2004年にシンナーを使用して逮捕・補導された少年数は625人と5年連続で全国1位を記録した。福岡県で少年のシンナー問題が深刻化しているのは、同地域が工業地になっていることによる。北九州地域には、製造業の工場が多く集積しており、密売人がシンナーを入手しやすくなっているのだ。実際、工場や工事現場から、塗装や防水などで使用するシンナーを盗み出す密売人は多い。シンナーの密売には、これらの地域に根を張る暴力団が関与しているとみられ、少年のシンナー購入費が暴力団の資金源になっている可能性が高い。工場などに卸されるシンナーの正規価格は16リットルで2千円程度だが、末端価格はその20～30倍まで上昇する。

(他の違法ドラッグに比べた割安感が薄れてきたことがシンナー離れにつながる)

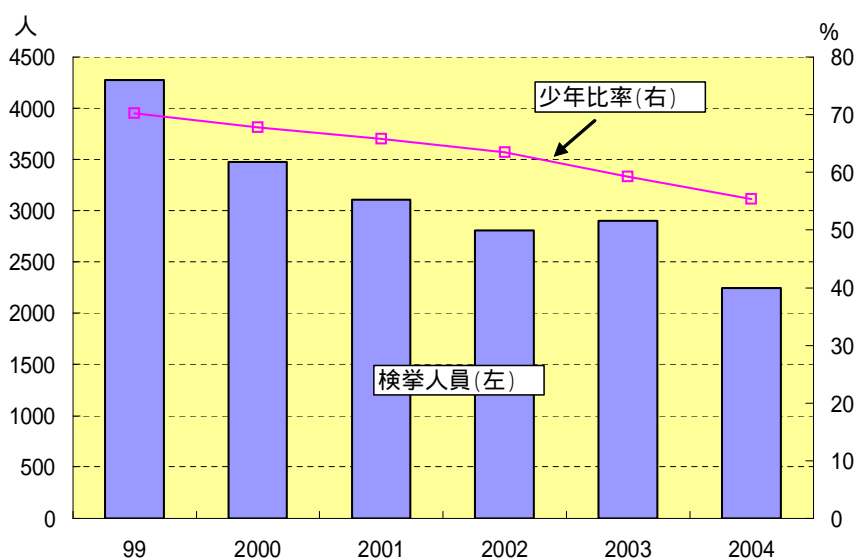
一昔前は、少年が手を出す違法ドラッグといえば、シンナーが主流であった。1960年代に入ってシンナーの吸引・乱用が全国的に拡大したため、1972年に「毒物及び劇物取締法」が改正され、シンナーの乱用や(乱用することを知っての)販売行為が法律で禁止されることとなった。規制強化後も、少年によるシンナーの吸引・乱用は高水準で推移していたのだが、近年では、そうした傾向に変化が現れている。90年代後半以降、シンナー等有機溶剤の吸引等の検挙・補導人員、及び全体に占める少年の割合が低下傾向を示しており、全国的に少年のシンナー離れが進んでいると推察される。

検挙・補導人員(少年)は99年の4272人から2004年には2245人へと47.4%の減少、少年が占める割合も99年の70.2%から2004年には55.3%まで低下した。

この理由として、シンナーの他の違法ドラッグに比べた割安感が薄れてきたことが挙げられる。そもそも、シンナーが若者の間で流行するようになった背景には、覚せい剤をはじめとする他の違法ドラッグが中高生にとって高価で、容易に手が出せなかったという事情がある。末端価格が100ミリリットルで2千円から4千円程度のシンナーは、当時、中高生が自分の小遣いの範囲内で買うことができた唯一の違法ドラッグであった。

しかし、最近では各種ドラッグの値段が低下傾向にあり、またMDMA(メチレンジオキシメタンフェタミン)など新しいタイプの違法ドラッグも次々に誕生していることから、シンナーから他の違法ドラッグへと少年の需要がシフトしている可能性が高い。

図表1 シンナー等乱用で検挙された少年数(全国)



(出所) 警察庁資料より作成

(福岡県では少年によるシンナーの乱用・吸引が依然深刻)

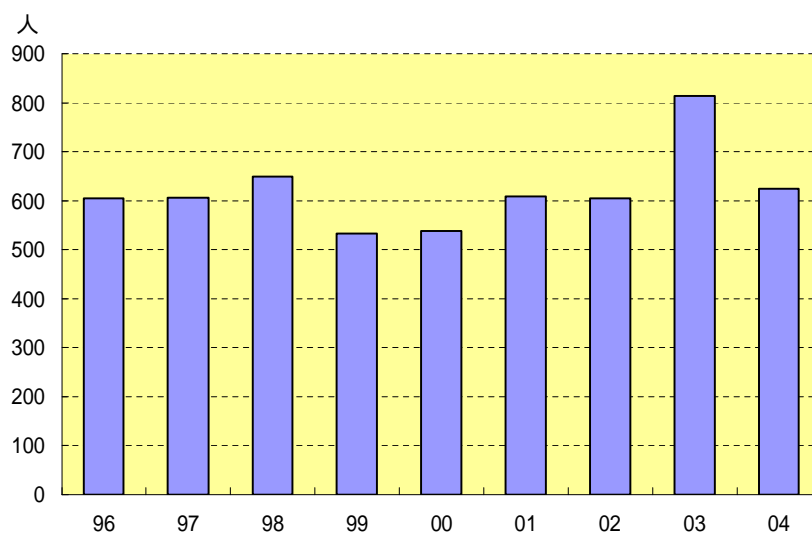
ただし、地域によっては、少年によるシンナーの乱用・吸引が最近になってむしろ深刻化しているところもある。福岡県は、少年によるシンナーの吸引・乱用がもっとも深刻な地域とされており、たとえば、2004年にシンナーを使用して逮捕・補導された少年数は625人と5年連続で全国1位を記録した。

福岡県で少年のシンナー問題が深刻化しているのは、同地域が工業地になっていることによる。北九州地域には、製造業の工場が多く集積しており、密売人がシンナーを入手しやすくなっているのだ。実際、工場や工事現場から、塗装や防水などで使用するシンナーを盗み出す密売人は多い。北九州市では、深夜コンビニなどにたむろする少年に密売人が接近し、自分の携帯電話の番号を教え、後で少

年たちから連絡を受けると、車で駆けつけて少年にシンナーを密売しているという。

シンナーの密売には、これらの地域に根を張る暴力団が関与しているとみられ、少年のシンナー購入費が暴力団の資金源になっている可能性が高い。工場などに卸されるシンナーの正規価格は 16 リットルで 2 千円程度だが、末端価格はその 20～30 倍まで上昇する。利益率の高いシンナー密売は、規制の強化や不況の影響で資金源が細っている暴力団にとって非常に魅力的なビジネスとなっている。実際、福岡県警少年課と久留米署などが、シンナー吸引で摘発した少年 100 人を対象に実施したアンケート調査の結果によると、シンナー入手先について暴力団と回答した者が 38 人、暴力団関係者とみられる密売人と回答した者が 27 人で、両者を合わせると 65 人と全体の 6 割を超える。

図表 2 シンナー等乱用で検挙された少年数（福岡県）



(出所) 警察庁資料より作成